くしまっ子

幼少時代からの幼なじみ2人で全国の上位を目指す

目標は全国ベスト5!

得意技の中段突き

県内屈指の実力を誇る空手道場「緑勝会」。子どもから大人まで計31名の部員が在籍する中、全国大会を目指し、週3回の稽古で切磋琢磨しあう串間中学校3年生の黒木星矢くんと2年生の河野鉄笙くん。

黒木くんは、緑勝会のコーチでもある父親の影響で空手を始め、父親同士が同級生であったことから、誘いを受けた河野くんも道場に通うようになりました。

2人は幼い頃から上位の成績を残してきており、昨年12月に開催された宮崎県武道錬成大会では、共に3位入賞を果たし、今年の3月、全国大会に出場しました。黒木君は1回戦、河野君は3回戦敗退と悔しい結果に終わったものの、全国レベルの選手と試合をして大きな刺激を受けました。「非常に悔しかったが、まだまだいけると思った」と2人。

次の大会は5月の全国中学生空手道選手権大会宮崎県予選。3月の前回大会の悔しさをバネに練習に力が入ります。

2人の目標は、県予選で優勝し、全国大会でベスト5に入賞すること。「全国に行ける最後の大会になるので、技をどんどん繰り出して攻めていきたい」(黒木くん)。「粘り強く最後まで諦めず、足技を意識して攻めていきたい」(河野くん)とそれぞれ大舞台での活躍を誓います。

25. (左) 河野(かわの) 鉄笙(てっしょう)くん
(右) 黒木(くろき) 星矢(せいや)くん

2人とも幼少時代から空手を始め、数々の大会で上位の成績を残す。2人の得意技はともに中段突き。

地域おこし協力隊

活動日記 vol.25

相棒からのみつぎもの

福島(ふくしま) 綾乃(あやの)さん

お休みの日の朝のことでした。夜更かしした私は朝、ベッドであともうちょっと寝ようとゴロゴロしていました。春先の寝床ってなんでこんなに心地いいのでしょう。休みの日って最高やなぁ～♪と思いつつ、ひとまず何時なのかだけ確認しておこうと枕元に置いておいたケータイに手をのばしました。すると、ぷにっとした感触が。なんだこれは? ん? この感触、知っているような気がする。ふとケータイをつかんだ手を見ると、そこには傷だらけのヤモリが。ギャアアアアアアアア! 相棒である猫が朝から獲ったようです。相棒は何の悪気もなく、むしろ厚意で獲ってきたのでしょうけど、朝から迷惑極まりない! しかも私が驚いたのをあたかも喜んだと勘違いし、目玉をキュルキュルさせながらナチュラルハイ。相棒よ、そろそろ人間がその類いのみつぎものについてあまり得意ではないことを学んでいただきたい。私は歓喜の雄たけびをあげたのではない。これは悲鳴や。

まさかヤモリと川の字で寝ることになるとは思いもしませんでした。ちなみに昨年も活動報告に靴下からヤモリが出てきた話を書かせていただきましたが、それよりはまだ今回の方がマシだと思えます。どっちの方が耐えられます? 履いた靴下の中からヤモリが出てくるか、ヤモリと添い寝するか。両方とも経験しましたけど、まだ添い寝の方が耐えられますよ。すみません、またアホな話を書いてしまいました(笑)。

串間のあんな人こんな人
People
ピープル

串間で活躍する人を紹介します
きらめき図鑑
kirameki

串間への移住を促進

新くしま人応援隊が取り組む活動

串間市の現在の現住推計人口は、約17400人(4月1日時点)。10年前の人口、約20700人(平成21年4月1日時点)と比べると、約3300人も減っており、人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。

このような現状を少しでも打開しようと、本市の魅力を発信し、移住をサポートし続けているのが、古屋勝人さんが代表を務める市民団体『新くしま人応援隊』。

新くしま人応援隊は、平成18年8月に設立され、今年で12年目を迎えます。会員数は22名で、農業・漁業・不動産業などさまざまな業種の方で構成されており、古屋さんも普段は建築業を営んでいます。

団体の主な活動は、市役所と連携して、毎年都市部での移住相談会や移住体験ツアーを開催したり、市内生活・物件・就職などに関する情報発信や相談対応など。

団体設立当初から、会員に加入している古屋さん。活動する中で、思うようにいかないことも多々あると言います。「移住は人の人生にかかわること。移住相談会などで、暮らしの説明をする際、具体的なイメージをしやすいように話しているつもりですが、うまく伝えきれないこともありますね」と古屋さん。

そこで、移住を希望する方に具体的なイメージを持ってもらうために、「暮らし」をテーマにしたインタビュー動画を作りました。インタビューには、農業従事者・子育てをしている主婦・Uターン者が出演しています。

早速、動画を移住相談会で放映したところ、相談者の目に留まり、相談件数が増加したそうです。

今年の3月に実施した移住体験ツアーは、これまでの金曜日から日曜日にかけた2泊3日の日程を、土日のみの1泊2日に変更。仕事をしている人も参加しやすい条件にしました。また、ツアー参加者から「地元企業を見学したい」との声があったので、企業見学を工程に追加するなど参加者のニーズにも柔軟に対応しました。そんなひたむきさが実ったのか、ツアー終了後にはお礼の手紙が届いたそうです。「あのときは本当に嬉しかったですね」と古屋さん。

「まずは串間のファンになってもらうこと」を第一に、今後は「後継者・技術者不足に対応した取り組みを行っていきたい」と話す古屋さん。串間に「人」という財産を残すため、これからも移住促進の支援に励みます。

古屋(ふるや) 勝人(かつひと)さん
(福島地区・上塩)

古屋建設で建築業を営む。市民団体「新くしま人応援隊」代表。趣味は釣り。

移住体験ツアーの様子

移住相談会の様子